

公益財団法人 8020 推進財団

平成 28 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名： 高齢者歯科健診事業  
(要介護者・元気高齢者を対象とした口腔機能向上・維持に関する事業)

2. 申請者名： 一般社団法人 東京都本所歯科医師会 会長 湯澤 伸好

3. 実施組織： 一般社団法人 東京都本所歯科医師会

4. 事業の概要：

要支援を含めた介護予防段階の方から、デイサービス利用者・入所サービス利用者と、3つの段階の高齢者を対象とし、各段階に合わせた口腔機能の重要性・維持、向上を目的とした啓蒙活動を行う。

墨田区内の地域包括支援センターと連携し、介護予防段階の高齢者に対し、口腔機能の重要性・口腔ケアの啓蒙及び指導を行う。

またデイサービス利用者を対象に、個別の口腔内診査から相談・アドバイスなどを行う。

介護老人保健施設入所者に対し、嚥下機能を含めた口腔機能健診を行う。

5. 事業の内容：

地域包括支援センターにおける事業では、4つのセンターにおいて、講演会形式をとり口腔機能の重要性・口腔機能低下により起こる可能性のある疾病等を、本会が作成したスライドを見ながら説明する。また口腔・顔面・嚥下体操を全員で一緒に実施し、そのうえで質疑応答、口腔ケアの重要性を理解してもらった。4ヶ所合計 89名の参加であった。

墨田区福祉保健センターにおける健診事業はデイサービス利用者を対象に、口腔内診査を行い、個人相談・アドバイスをを行った。口腔内診査を実施していない施設利用者も含め、1日 20名程度の方を対象に 5日間、講演会形式で、口腔機能の重要性や、その機能の維持・向上を目的とした体操などを行った。

5日間における健診は 60人、講演聴講者は 100名ほどとなった。

介護施設における事業は介護老人保健施設『秋光園』において、嚥下機能に関するアンケートを 150名に実施し、そのうち希望者から 23名を選出。口腔内診査、口腔咽頭機能検査・嚥下スクリーニングテストを行った。

6. 実施後の評価（今後の課題）：

各施設において様々な対象者を選択したつもりではあるが、重度の嚥下障害をもっている方に出会うことはなかった。

食べることに喜びを感じる高齢者は多く、どうすれば口腔機能を維持できるか知りたいと思う気持ちは、多くの方から感じられた。

個別の口腔内診査から、直接相談・アドバイスが出来ると、より具体的、効果的と考える。しかしながらドクター側の時間的負担などは大きなものになってしまう。また認知機能が衰え、意思の疎通が難しくなってしまった高齢者においては、直接の指導は難しいため、支援する側の人間を巻き込む必要性を大きく感じる。

元気高齢者や軽度の要介護者に対してセルフケアの知識、方法を広く伝えていくことで数年後の結果に繋がっていくと思われる。